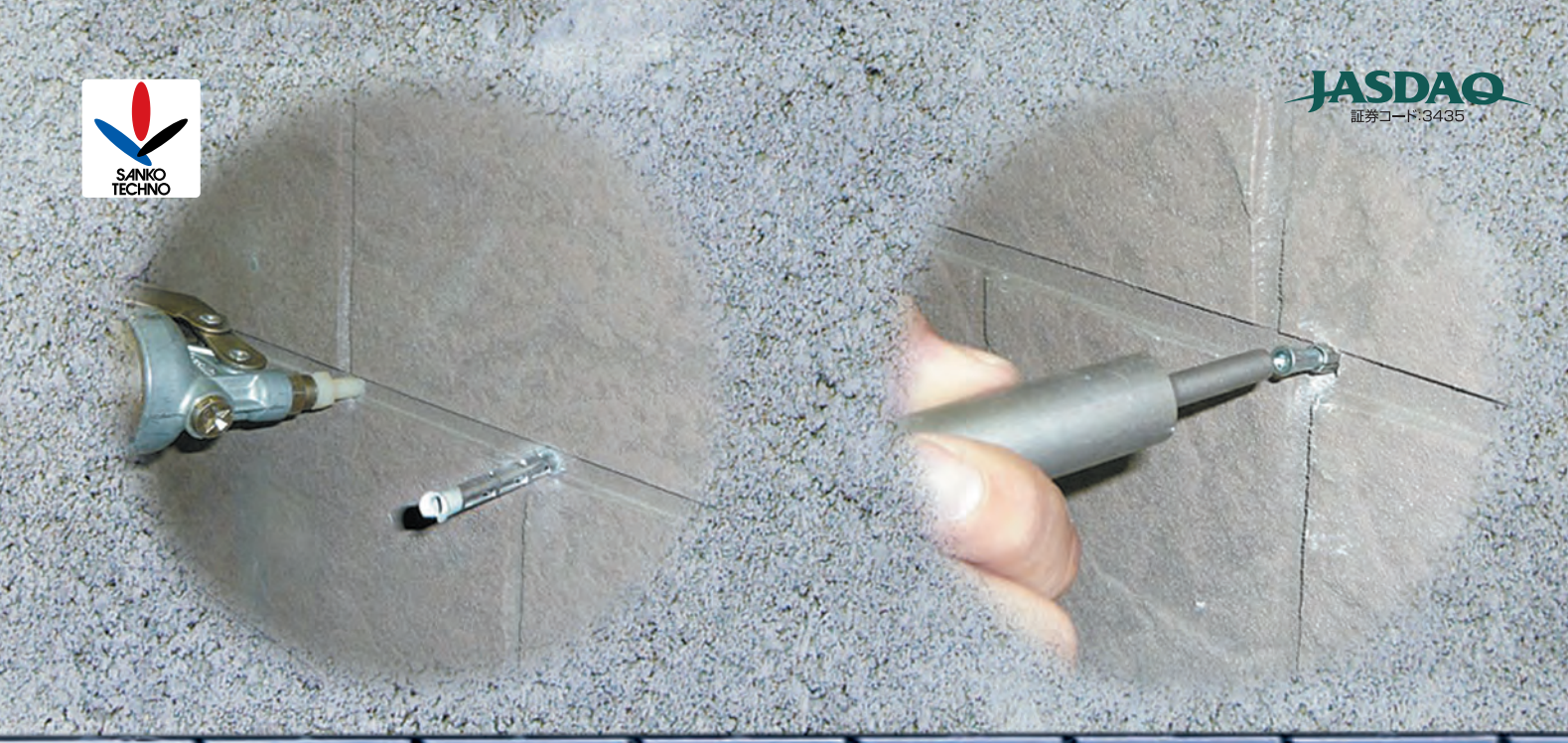
SANKO TECHNO

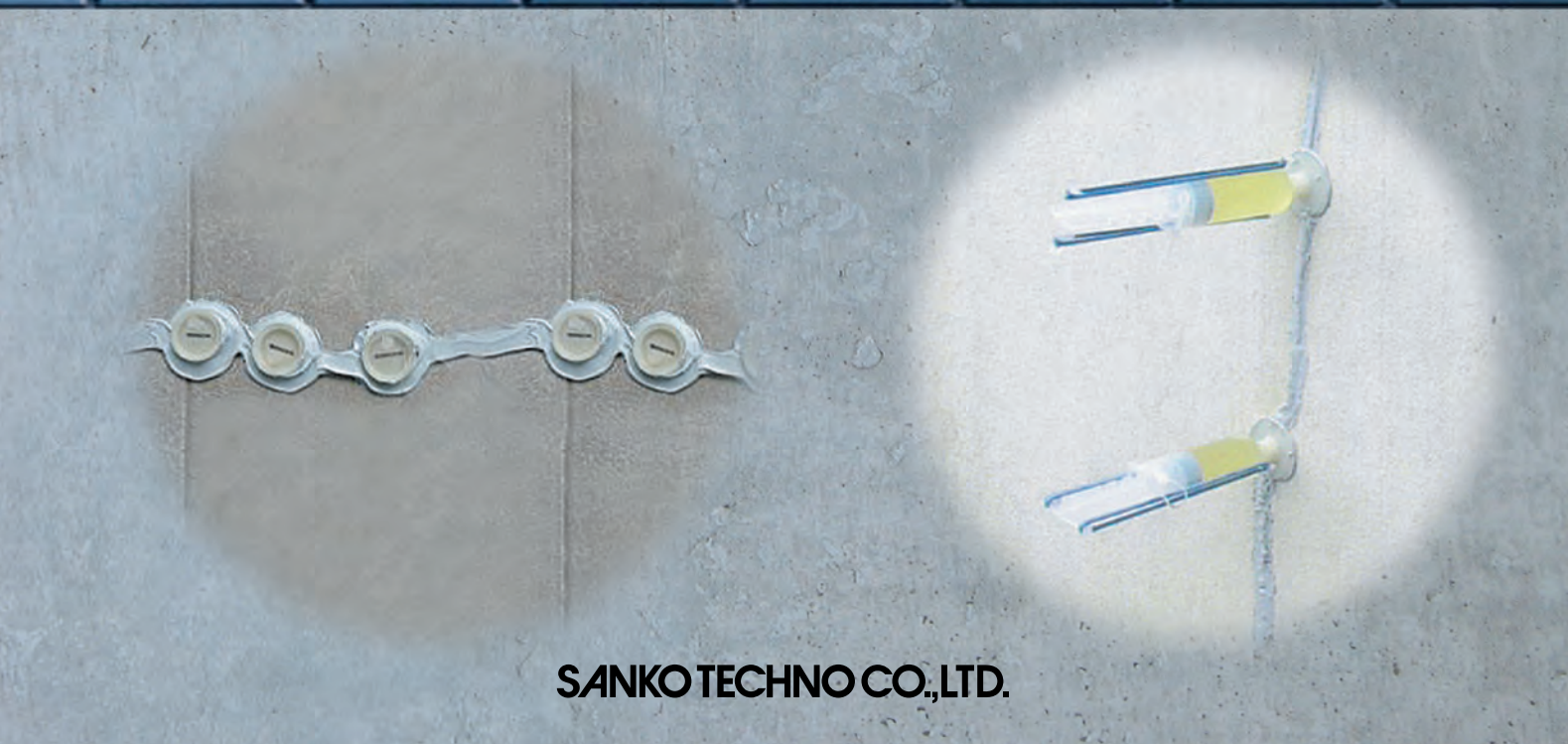
JASDAQ
証券コード:3435



安全と安心をお届けする

外壁補修システム

Reform Solution



SANKO TECHNO CO.,LTD.

確かな技術で、暮らしを守ります。

建物の維持保全なら
サンコーテクノに
お任せください。
豊かな経験と数多くの
工事実績で蓄積された
締結技術を活かして、
建物の状態や条件に適した
最新の技術を
皆様へご提供致します。

優れた製品で、安全・安心を提供します。

スーパースクイズピン

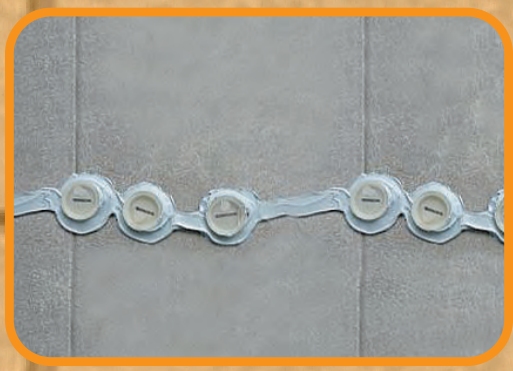
モルタルおよびタイルの
浮き補修工事に最適

▶3P

ロールアンカー

外壁モルタル仕上層の剥離・
タイルの剥落補修工事に
最適

▶4P



スクイズ工法

コンクリート毛細ひび割れ
補修に最適

▶5P

ボンドシリンダー工法

エポキシ樹脂を低圧・低速で
確実に注入

▶5P

テクノテスター

接着力・付着力の簡易型
引張試験器

▶6P

モルタルおよびタイルの浮き補修工事に最適

スーパースクイズピン®SSPタイプ

●コンクリート用 ●ステンレス製SUS304系 ●打込み式 ●注入口付アンカーピン テーパー型（T型）

特　長

画期的な注入口付アンカーピン
アンカーピン施工後、すぐに浮き補修用の樹脂を注入できます。

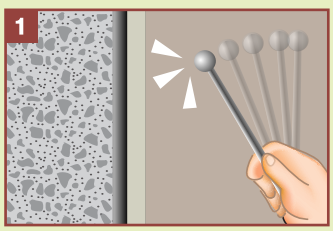
強固な固着力と接着力で確実な施工
アンカー開脚による強固な固着力と、エポキシ樹脂の接着力との相乗効果で、モルタルおよびタイルの浮き補修を確実に行います。

高い圧力の樹脂注入でも安全・安心
アンカーピンの開脚により、躯体にガッチリ機械的に固定します。

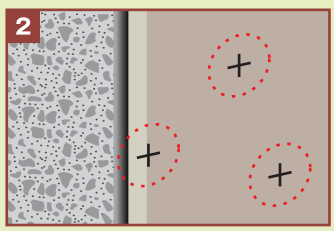
スリーブにより、注入時における樹脂もれ防止

ステンレス製（SUS304系）

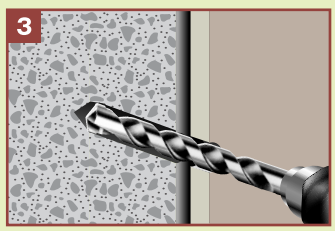
施工方法



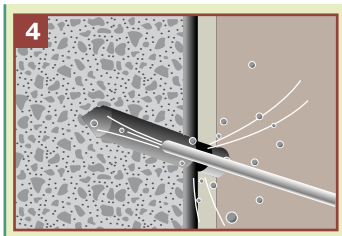
1 浮きの調査
打音でモルタルやタイルの浮きを調査し、浮きの範囲を記します。



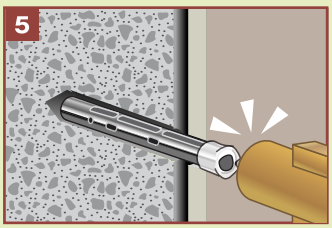
2 穿孔位置の決定
浮き部分の補修に使用する注入口付アンカーピンは、一般部分には標準で9本／m²。



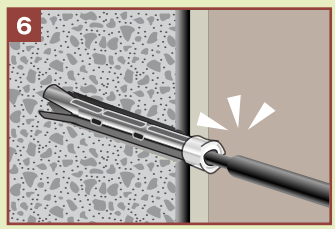
3 穿孔
ドリル径6.6mmのコンクリート用振動ドリルまたは無振動ドリルビットで、壁面に対して直角に所定の深さに穿孔を行います。



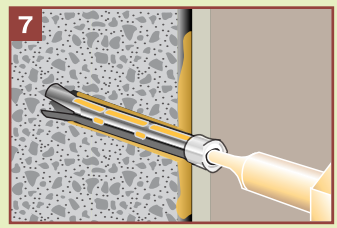
4 清掃
吸塵機またはダストポンプ等を用いて孔内の切粉を除去します。



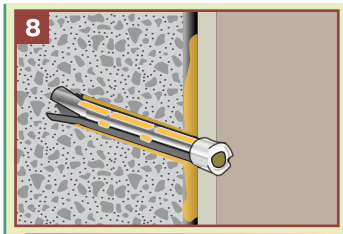
5 挿入
スーパースクイズピン本体を下穴に挿入し、頭を軽くハンマーで叩きながら、モルタル面またはタイル面と同じところまで打込みます。
スリーブがエポキシ樹脂の漏れを防ぎます。



6 打込み
専用ハンドホルダーを用いて、段部がスーパースクイズピンの頂部に達するまで打込みます。
※専用ハンドホルダーで打込まないと、所定の位置におさまらず、十分な引抜強度が得られません。

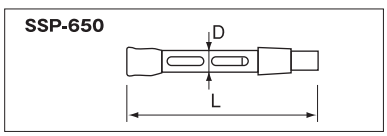


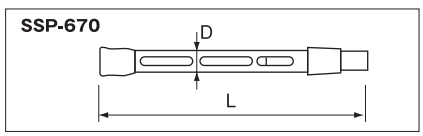
7 注入
手動式注入器（グリスガン）に専用ノズルをつけて、スーパースクイズピンの注入口から高粘度エポキシ樹脂を注入します。
※注入量は特記がなければ、1箇所当り25ccとし、打音により注入の範囲を確認しながら半径10cm以上を目安に注入の確認を行います。

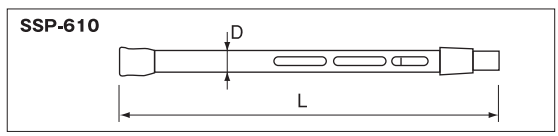


8 仕上げ、施工完了
注入樹脂が硬化したら、注入口をエポキシパテまたはキャップ等で仕上げをし、施工完了。

サイズ







品　番	外径（D）（mm）	全長（L）（mm）	適用仕上げ材厚（mm）	ドリル径（mm）	穿孔深さ（mm）	コンクリート強度21N/mm²（210kgf/cm²）引張最大荷重（単体）kN（kgf）	コンクリートへの埋込み深さ（mm）	入数（本） 小箱	入数（本） 大箱
SSP-650	6	50	30以下	6.6	55	1.9（200）	20以上	100	1,200
SSP-670	6	70	50以下	6.6	75	1.9（200）	20以上	100	1,200
SSP-610	6	100	80以下	6.6	105	1.9（200）	20以上	100	1,200

※上記荷重値は、当社オールドリルを使用してく穿孔した場合の実験値です。

専用施工工具

オールドリルB（振動用）タイプ コンクリート・ブロック・モルタル用
B-6.6 ×130-HB ／ B-6.6 ×200-HB

シャンク形状　ストレート軸／リブ付
刃先径 6.6mm　全長 130mm　有効長　80mm　SSP-650・670用
刃先径 6.6mm　全長 200mm　有効長 120mm　SSP-610用

専用ハンドホルダー／グリップヒッター
OH-SSP　全長140mm

専用ハンドホルダー／フロントヘッド
FH-650／670／610

全長138／158／188mm

専用ノズル
N-1　全長 54mm

外壁モルタル仕上層の剥離・タイルの剥落補修工事に最適

ロールアンカー SXタイプ

●コンクリート用 ●ステンレス製SUS304系 ●打込み式 ●注入口なしアンカーピン

特　長

W開脚により、モルタルとコンクリートを結合
モルタルと躯体を機械的にがっちり結合します。

注入時の共浮きを防止
注入圧によるモルタル層の共浮きを注入施工と同時にとめることができます。

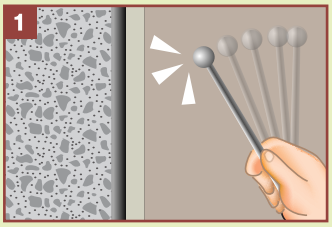
施工と同時に注入ができ、作業効率アップ
ハンマーと専用ハンドホルダーを使用してセンターピンを打ち込むだけの簡単施工です。

ステンレス製(SUS304系)

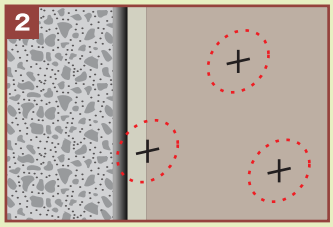
確実施工で安全・安心
躯体表面から目視で施工完了確認ができます。

本製品は、エポキシ樹脂の注入機能はありませんので、モルタルやタイルの浮き部分にロールアンカーを打ち込み固定した後、浮き内部には別途穿孔してエポキシ樹脂等を注入します。

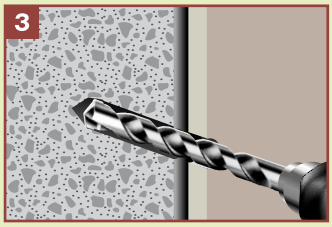
施工方法



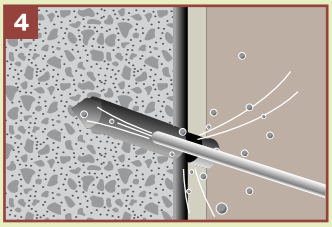
1 浮きの調査
打音でモルタルやタイルの浮きを調査し、浮きの範囲を記します。



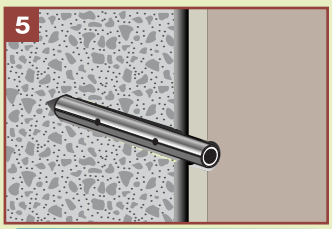
2 穿孔位置の決定
浮き部分の補修に使用する注入口付アンカーピンは、一般部分には標準で9本／m^2。



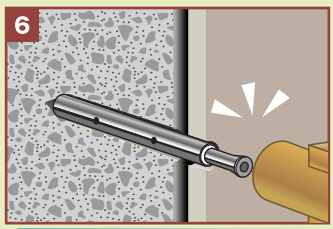
3 穿孔
ドリル径6.6mmのコンクリート用振動ドリルまたは無振動ドリルビットで、壁面に対して直角に所定の深さに穿孔を行います。



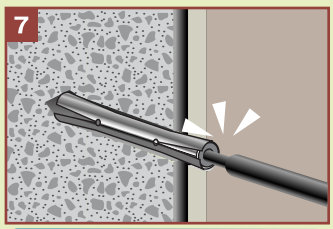
4 清掃
吸塵機またはダストポンプ等を用いて孔内の切粉を除去します。



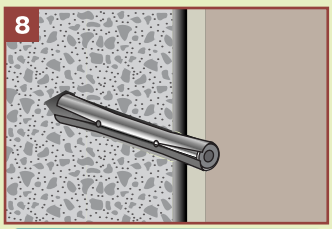
5 挿入
アンカー本体を挿入します。



6 打込み
芯棒をハンマーで途中(2／3)までピンを打込みます。



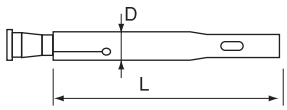
7 専用ハンドホルダーで打込み
専用ハンドホルダーSX-6Hで打込みます。



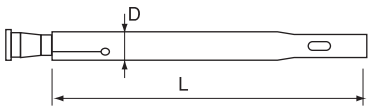
8 仕上げ、施工完了
パテで処理し、施工完了。

サイズ

SX-650



SX-670



品　番	外径(D)(mm)	全長(L)(mm)	適用モルタル厚(mm)	ドリル径(mm)	穿孔深さ(mm)	コンクリート強度21N/mm²(210kgf/cm²) 引張最大荷重kN（kgf）	コンクリートへの埋込み深さ(mm)	入数(本) 小箱	大箱
SX-650	6	50	30以下	6.6	55	1.9（200）	20以上	100	1,200
SX-670	6	70	50以下	6.6	75	1.9（200）	20以上	100	1,200

※上記荷重値は、当社オールドリルを使用してく穿孔した場合の実験値です。

専用施工工具

オールドリルB(振動用)タイプ コンクリート・ブロック・モルタル用

B-6.6 ×130-HB ／ B-6.6 ×200-HB

シャンク形状　ストレート軸／リブ付
刃先径 6.6mm　全長 130mm　有効長 80mm

オールドリルSDSタイプ コンクリート・ブロック・モルタル用

SDS-6.6×160

シャンク形状　SDSプラス軸
刃先径 6.6mm　全長 160mm　有効長 95mm

専用ハンドホルダー

SX-6H　全長 140mm

コンクリート毛細ひび割れ補修に最適

スクイズ工法 自動式低圧樹脂注入工法

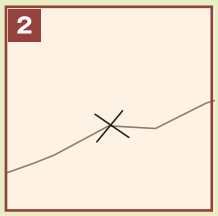
●国土交通省指定　●都市再生機構指定

特　長

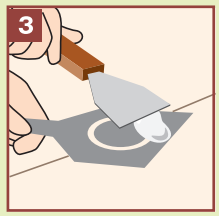
- 低圧で自動的にコンクリートのひび割れの中へ樹脂を注入、補修する、優れた自動式低圧樹脂注入工法。
- プレートに充填された樹脂はゴム膜の復元力と毛細管現象により、ひび割れの隅ずみまで注入される。

施工方法

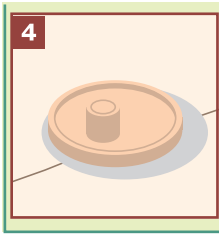
ひび割れの状態を調査し、下地処理をします。



スクイズプレートの取付け位置を決定します。

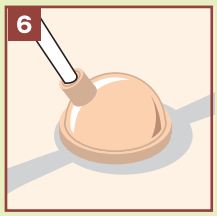


マスキングを行います。

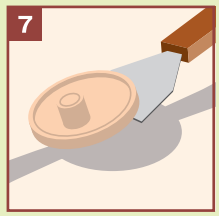


スクイズプレートを貼付けます。

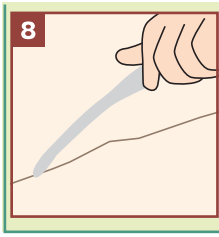
ひび割れをシールします。



注入液の計量・混合の後、注入します。



スクイズプレートを撤去します。

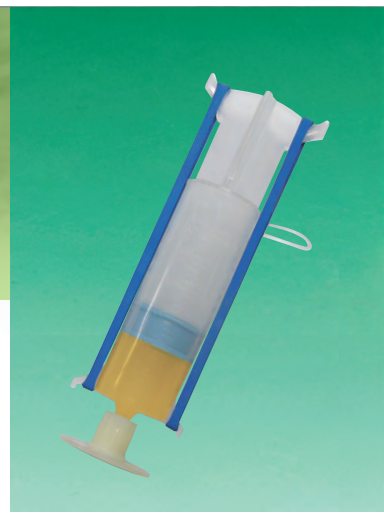


シール材を撤去して仕上げます。

エポキシ樹脂を低圧・低速で確実に注入

ボンドシリンダー工法

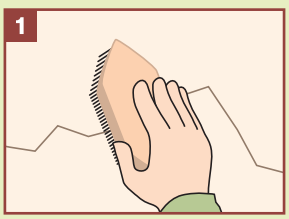
コンクリートのひび割れ 自動式低圧樹脂注入工法



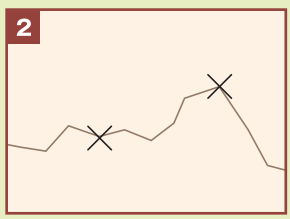
特　長

- 低圧・低速による確実な注入
- 注入量が一目でわかる
- 同時注入ができる
- ※注入圧力、注入量をコントロールできる
  ※0.1～0.3MPaの範囲
- 注入材の硬化状態の確認が容易

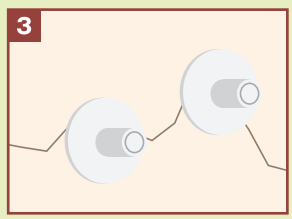
施工方法



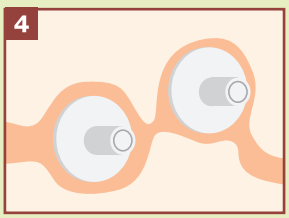
ひび割れの状態を調査し、下地処理をします。



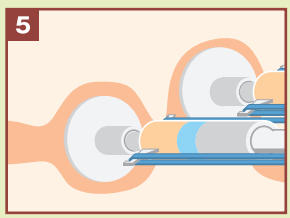
座金取付け位置を決定します。



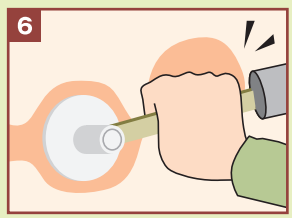
座金を取付けます。



ひび割れ部分をシールします。



ボンドシリンダーで注入します。



注入座金を取り外し、シール材の除去が必要な場合は、ディスクサンダー、皮すきなどで除去します。

テクノテスター® RTシリーズ

＜日本建築仕上学会認定＞ 接着力・付着力の簡易型引張試験機

RT-1000LD
テスト許容範囲 10kN（1020kgf）まで

RT-2000LD
テスト許容範囲 20kN（2040kgf）まで

RT-3000LD
テスト許容範囲 30kN（3060kgf）まで

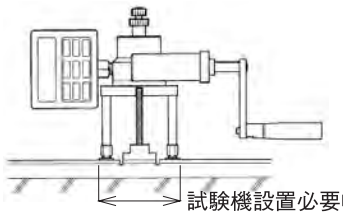
特　長

- 小型･軽量設計なので、狭い場所や足場での試験も簡単に実施できる。
- 荷重と変位を同時に測定できる。
- 試験完了ブザー･最大値ホールドなどの便利な機能が付いている。
- 本体は乾電池駆動なので、AC電源は不要。
- バッテリー搭載のプリンターに接続すれば、測定データのプリントアウトがその場で可能。（オプション品）

テクノテスター プリンター M255

仕様

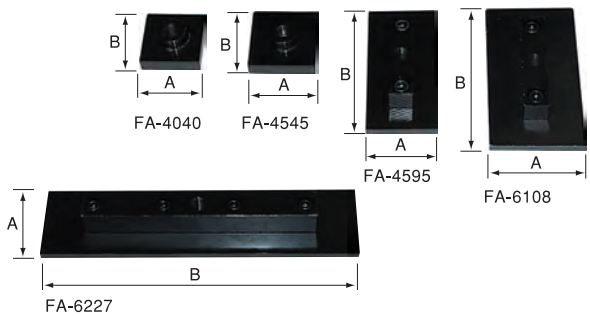
名称	テクノテスター		
型式	RT-1000 LD	RT-2000 LD	RT-3000 LD
最大荷重	10kN（1020 kgf ）	20kN（2040 kgf ）	30kN（3060 kgf ）
最大変位量	18㎜	14㎜	10㎜
傾斜補正範囲	±2.5度		
荷重精度	非直線性：±3% F.S ±1digit		
変位精度	非直線性：±3% F.S ±1digit		
本体重量	3.3kg	4.5kg	5.1kg



測定部	保護構造	防まつ型（IP54相当）		
	表示部	16文字×2行　液晶表示器		
	外部出力	RS-232C		
	電源	単三乾電池×4本		
機構部	負荷方式	油圧シリンダ+手動回転式油圧ポンプ		
	荷重センサ	半導体圧力センサ		
	変位センサ	ポテンショメータ式		
	センターシャフト	W3/8全ねじボルト	M12全ねじボルト	
試験機設置必要幅		109.5 mm	110.2 mm	120.8 mm
附属品		建研アダプタ（M15×1.5）W3/8アダプタ（RT-2000LD、3000LDのみ）		
別売品		テクノテスタープリンタ M255，フィラーアタッチメント，TYカップリング		

オプション

接着・付着力試験治具　フィラーアタッチメント



品　番	ねじの呼び	寸法（mm） A	寸法（mm） B	面　積（mm²）	仕様
FA-4040	W3/8	40	40	1,600	下地塗材
FA-4545		45	45	2,025	住宅公団仕様
FA-4595		45	95	4,275	住宅公団仕様（2丁掛）
FA-6108		60	108	6,480	小口平
FA-6227	M12	60	227	13,620	小口平（2丁掛）

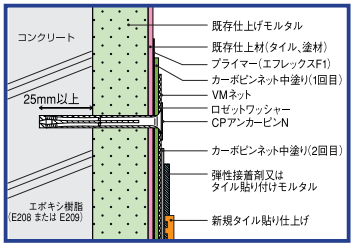
※ご希望により特注アタッチメントの製作も可能です。

引張試験治具　TYカップリング

品　番	仕　様	適応機種
JW30-T04	4mm用	センターシャフト側 W3／8 RT-1000LD用
JW30-T05	5mm用	
JW30-T06	6mm用	
JW30-T08	8mm用	
JM12-T04	4mm用	センターシャフト側 M12 RT-2000LD用、RT-3000LD用
JM12-T05	5mm用	
JM12-T06	6mm用	
JM12-T08	8mm用	

外壁タイル等の剥落、落下防止工法

工法に対してのご相談は専門担当者が応じますので、担当部署までご連絡お願い致します。

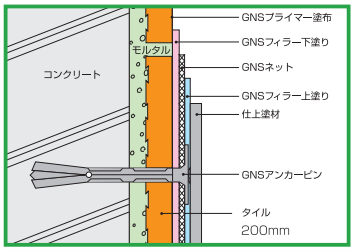


ボンドカーボピンネット工法（コニシ株式会社）

ボンドカーボピンネット工法は、壁面全体を繊維ネットと炭素繊維配合ポリマーセメント材で補強・一体化し、さらにステンレスアンカーピンでコンクリート躯体に固定することにより、将来にわたって仕上げ材の剥落を防止すると共に、新規仕上げに好適な下地を提供する外壁リニューアルシステムです。

強靭な繊維ネットを使用

- 新規仕上げとして塗装仕上げはもちろん、タイル張りも可能です。（別途ALC下地対応の仕様も取り揃えております。）
- 強靭な繊維ネットを使用します。
- ステンレスアンカーピンで固定します。

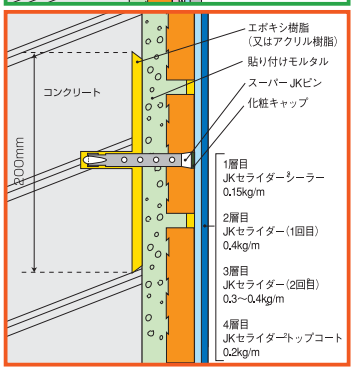


GNスーパーピンネット工法（全国ビルリフォーム工事業協同組合）

アンカーピンとビニロン繊維ネットで劣化した外壁を押さえる工法で、一般的には「ピンネット工法」と言われています。この方法は、国土交通省「建築改修工事監理指針」や都市再生機構「保全工事共通仕様書」の、外壁複合改修工法に適合しています。

- 騒音が少ない。
- 廃材が少ない。
- シックハウスにならない。
- ひび割れの抑制。
- 壁が落ちない。
- 建物の寿命が延びる。
- 10年間保証。

〈姉妹品〉
- タイル張り用GNスーパーピンネット工法
- GN外断熱ピンネット工法



JKセライダー工法（日本樹脂施工協同組合）

JKセライダー工法は、短繊維を混入した特殊アクリル樹脂「JKセライダー」と特殊アンカーピンで、タイル張り外壁を面で補強するタイル落下防止工法です。阪神・淡路大震災クラスの振動にも耐えるばかりでなく、JKスライダーの皮膜は防止性に富み、なお且つ透明ですのでタイル張り外壁の風合いを損なわない画期的工法です。

優れたタイル落下防止機能

高い特殊アンカーピンのせん断力

特殊アンカーピンは高いせん断力があります。

JKセライダーの引っ張り力は2倍、引き裂き強度は7倍

JKセライダーは、炭素繊維が入っているので、一般の透明となる特殊アクリル樹脂と比べ、引っ張り力は、2倍、引き裂き強度は7倍です。

目地材を強化

タイル張り仕上げの場合、一般的にタイルと目地材で相持ちすると言われていますが、その目地材を強固にし、タイル面の耐久性を向上させます。

抜群な耐震性

特殊アンカーピンとJKセライダーの組み合わせにより阪神・淡路大震災クラスの振動にもビクともしません。

⚠警告 カタログや取扱説明書記載の施工手順や取扱方法を充分に理解した上で使用してください。誤った取扱いをした場合は思わぬ事故につながる可能性があります。

⚠注意

■作業の心得について

●作業を行うときは現場環境をよく理解し、現場管理監督者の指示・指導に従い安全で確実な作業をしてください。
●作業を行うときは、自分の安全だけでなく周りの人々の安全も気遣ってください。
●疲れている場合や冷静な判断ができない場合は、作業を行わないでください。

■作業の服装について

●きちんとした服装で作業を行ってください。
●皮手袋、安全メガネ、ヘルメット、安全靴などの保護具を着用してください。

■作業前に注意すること

●アンカーの施工方法は商品によって異なります。施工手順を充分理解してから施工を行ってください。
●本書記載のデータ（引張最大荷重など）は、当社オールドリル等を使用して行った実験に基づくものです。許容荷重や保証値ではありませんのでご注意ください。
●電動工具、試験機、樹脂を使用する際には、取扱説明書などに記載されている警告・注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

■作業中に注意すること

●指定された使用方法以外に使用しないでください。
●無理な姿勢で作業を行わないでください。
●穿孔用ドリルなどは、人体に向けて使用しないでください。
●穿孔時は、ドリルビットは高温になっております。絶対に素手では触れないでください。
●穿孔時に回転部分には絶対に手を触れないでください。
●作業中に異常を感じたときは作業を中止し、製品・工具を点検してください。
●モルタル部、タイル部などの仕上材部分は、アンカーの埋込深さとは認められませんので、仕上材厚さ分深くアンカーを埋め込んでください。
●専用ハンドホルダーを使用して施工する商品は、必ず指定のハンドホルダーをご使用ください。
●ハンマーやハンドホルダーなどは、施工目的以外に使用しないでください。
●アンカーの施工完了を必ず確認してください。施工が不完全な場合は、強度面や安全面から見て、非常に危険です。
●樹脂は、蒸気を吸引したり目に入ったりすると健康障害を起こす恐れや、皮膚に触れるとかぶれなどを起こす恐れがあります。異常が見られる場合は取扱説明書やMSDS記載の指示に従い処置を行い、必要ならば医師の診断を受けてください。

■作業後に注意すること

●穿孔直後のドリルビットは熱を持っています。触るとやけどの恐れがありますので、十分注意してください。
●作業終了後は手を洗い、及びうがいを充分に行ってください。

※製品改良のために予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承ください。

無断複写・転載禁止

安心して暮らせる豊かな街づくりを目指して…

マテリアルヒューマンテクノロジー

サンコーテクノ株式会社

本　社／〒270-0114 千葉県流山市東初石6-183-1-301

担当部署 マテリアル営業部 〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-14

TEL.04-7153-7151　FAX.04-7153-8600

OFFICE	TEL	FAX
札幌支店	011-865-6251	011-865-6256
仙台支店	022-236-2533	022-236-2537
名古屋支店	052-355-3501	052-355-3502
大阪支店	06-6962-2511	06-6962-1562
福岡支店	092-587-0188	092-504-7300
首都圏営業部	04-7178-3551	04-7178-3585
本社営業部	04-7178-3531	04-7178-3585
新潟営業所	0256-32-7428	0256-32-7429
北関東営業所	0276-60-2335	0276-60-2208

OFFICE	TEL	FAX
横浜営業所	045-340-3517	045-334-0071
静岡営業所	054-237-0102	054-237-2917
金沢営業所	076-240-3535	076-240-7286
岡山営業所	086-296-8031	086-296-8130
広島営業所	082-294-3308	082-294-3306
高松営業所	087-885-7431	087-885-7430
建材営業所	092-611-0020	092-611-9266
鹿児島営業所	099-225-8311	099-225-8328
沖縄営業所	098-859-7411	098-859-7415

お客様相談窓口（フリーダイヤル） TEL 0120-350-514 FAX 0120-350-571 受付時間 祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～17:00

サンコーテクノホームページ http://www.sanko-techno.co.jp

A080505T